

2020 舞鶴小 家庭学習のすすめ

保護者の方へ

小学校での学習は、子どもたちが将来社会人として自立するための基礎となる「学ぶ力」を育てます。家庭との協力によって、その成果は何倍にも高めることができます。今年度も「家庭学習のすすめ」を準備しました。これまで以上に保護者の方のご理解・ご協力をお願いします。

小学校6年間はこんな時期、そこで身につけたい力は！

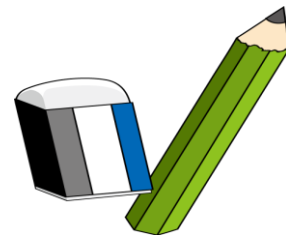
習慣づけの1年生

低学年の頃は

- 何でも知りたがります。
- 頑張ったこと、よいところを褒めてほしいと思っています。

そこで・・・一緒にやって習慣づけをしましょう。

- いっしょに学習内容ややり方を決めましょう。
- 出来ることをほめることで、意欲が高まります。
 - ①鉛筆を正しくもって字が書ける。
 - ②平仮名・カタカナの読み書きができる。
 - ③たし算・ひき算が正確にできる。
 - ④正しい姿勢で机に向かう。
 - ⑤決められた長さの直線を正しく書くことができる。
 - ⑥順序良く話ができる。
 - ⑦九九がすらすら言える。



定着の2年生

やいぬく力の3年生

中学年の頃は

- いろいろなことに興味を示し、行動範囲も広がります。
- 好きなことに熱中するようになります。
- 自分でやろうとすることが増えてきますが、まだ手助けが必要です。

そこで・・・認めて、ほめて、自信をもたせましょう。

- 宿題を見るなど手助けをして応援すると、少しずつ自分でできるようになります。
 - ①国語辞典や漢字辞典を使って調べられる。
 - ②ローマ字の読み書きができる
 - ③コンパスや分度器を正しく使える。
 - ④重さをはかり、表わすことができる。
 - ⑤わり算の筆算ができる。
 - ⑥地名を調べ、47都道府県を覚えられる。



「9歳の壁」を破る4年生

学力の差がつく5年生

自信と希望の6年生

中学校へ

高学年の頃は

- 自分でできているので、言葉かけに配慮が必要です。
- 得意な教科や苦手な教科を意識するようになります。
- 体も心も急激に変化します。バランスが崩れ、心が不安定になることもあります。

そこで・・・見守って、伸ばしましょう。

○子どもの話をよく聞き、成長を温かく見守ることで、将来の夢や目標をもって努力するようになります。

- ①習った漢字の9割以上が正しく書ける。
- ②小数のかけ算・わり算ができる。
- ③分母が同じ分数のたし算・ひき算ができる
- ④割合・百分率を使った問題を解くことができる。
- ⑤歴史上の人物・世界の主な国々の位置や、だいたいの社会用語が理解できる。



家庭学習10の「べからず」

- ①「勉強しなさい」と叱るべからず。
 - ・「勉強はいやなもの」「自分はだめななまけもの」と逆効果になる。
- ②テレビや電子・通信機器をつけっぱなしにするべからず。
- ③たたく、怒鳴るべからず。
- ④「どうせむり」と言うべからず。
- ⑤孤立させるべからず。
 - ・子ども部屋に放置すれば子どもは孤立する。近くで見守ることが大切。
- ⑥ごほうびでつるべからず。
- ⑦何でも「上手だね」を連発するべからず。
- ⑧競争をあおるべからず。
- ⑨家庭学習を最優先にするべからず。
 - ・家庭の手伝いや家族の中で役割をきちんとこなせない子どもは、勉強はできても自立できない。
- ⑩進学などのプレッシャーをかけるべからず。
 - ・プレッシャーをかけても、本当のやる気等起きない。失敗の恐れが強まるばかり。